



高小だより

令和5（2023）年3月



年度末号

1年間ありがとうございました。

本日、修了式と離任式を行いました。1年間の学習を終えて、それぞれ1つ上の学年に進級します。この1年間、子どもたちは、コロナ禍の制限がなくなった今だからこそ出来ることを考えながら、自分たちの生活を見直し、工夫して学校生活を過ごしてくれました。

先日の卒業式は、4年ぶりに5年生の子どもたちも会場に入って、対面で行いました。子どもたち一人ひとりが緊張しながらも立派に胸をはって颯爽と入場する姿はとても素敵で感動的でした。6年生の別れの言葉と5年生の送る言葉、お互いに気持ちを伝えることの素晴らしさを改めて実感しました。そして、5年生と6年生で歌った式歌「大切なもの」は、音楽の時間に発声からしっかり練習してきた成果を出し切り、ステキな歌声で美しいハーモニーを聴かせてもらいました。心を込めて一生懸命歌う子どもたちの姿に目頭が熱くなりました。

また、教室の様子からも子どもたちが成長したことが伺えました。子どもたちが友だちとつながりを深めながら、自分を磨いてきたことは、それぞれの財産となっています。「(かけ算の)7のだんがすらすら言えるようになりました。がんばれる自分が好きになりました。」「前はたくさんけんかをしていたけど、けんかをあまりしなくなって、友だちがたくさんできるようになった。」「5分前行動ができたと思います。」「この1年間で、勉強や授業をがんばろうという気持ちが持てました。」「1年生の時は二重跳びが12回だったけど、今は63回まで跳べました。雨の日も、友だちともひとりでも練習しました。目指せ！100回！みんながいるからたくさんできました。」子どもたちは、自分の成長をちゃんと見つめることが出来ました。学校は、こういった子どもたちの頑張りにつながる一人ひとりの成長にとって大切な場所であり続けています。

保護者の皆様、地域の皆様には、1年間、様々なバックアップをいただき、本当にありがとうございました。これからも高茶屋小学校へのご支援ご協力をよろしくお願いします。

卒業証書授与式(3/19) 無事終わりました。

6年生の卒業証書を受け取る堂々とした姿、心を入れた呼びかけ、5年生の緊張しながらも6年生の為に頑張っている姿、そして、美しい声で心に響く歌。厳粛な中にも温かさのあるとても素晴らしい卒業証書授与式でした。今年度から南郊中学校区では来賓の参加はなくなり、学校運営に携



わっていただいている学校運営協議会の委員の皆さんに参加をしていただきました。



※今年の高茶屋小学校の卒業式の様子が津市教育委員会の Facebook で紹介されています。

春は、別れと出会いの季節です。

今日の離任式で紹介した、今年度でこの学校を去る職員を紹介します。

(25日現在で分かっている分です。)

大屋 ゆかり (校長)	山崎 敦子 (専科)
花園 綾子 (1-2担任)	飯柴 雅己 (専科)
鈴木 絵理 (2-4担任)	田村 哲夫 (専科)
大久保 裕成 (4-3担任)	甲斐 弓月 (特別支援教育支援員)
南出 万侑 (5組担任)	
高尾 佐登子 (7組担任)	
杉野 由希子 (10組担任)	
吉田 嘉奈子 (専科)	
田端 知奈美 (専科)	



高茶屋地区安全フェスティバル 実行委員会様から

寄付金をいただきました。

三重中央自動車学校と高茶屋市民センターを会場にして、小学生もたくさん参加させてもらっていた高茶屋地区安全フェスティバルですが、諸般の事情で実施が難しくなりました。その為、寄付金をいただけることになりました。小学校の子どもたちの交通安全教育のために大切に使用させていただきます。



図書ボランティアさん、

読み聞かせボランティア「えほんぼこ」さん、 1年間ありがとうございました。

子どもたちの読書活動の為に、図書室の掲示をしたり、本の修理をしたりしていただきました。ありがとうございました。

今年は、各教室での読み聞かせの回数が増えましたし、休み時間にも読み聞かせのイベントをしていただきました。子どもたちに大好評でした。



